

南郷高通信



令和4年度 第10号
発行：令和5年1月31日

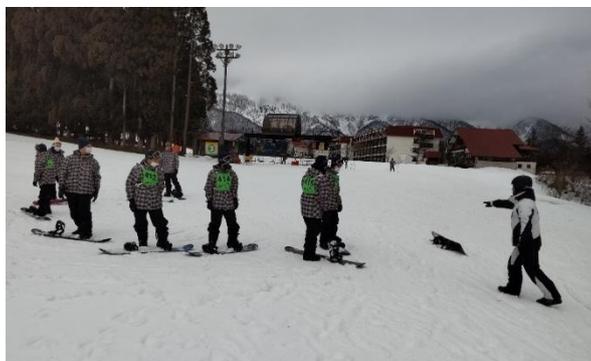
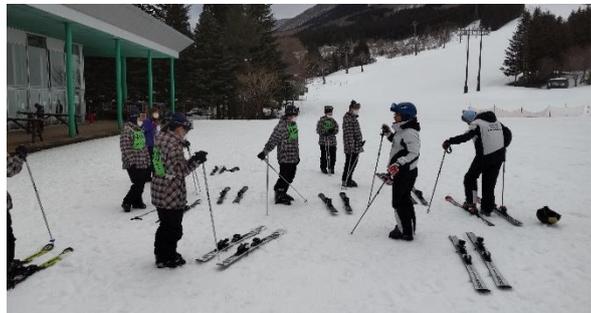
〒989-4204 宮城県遠田郡美里町大柳字天神原7番地
Mail: nango-h@od.myswan.ed.jp

「礼譲和協」

宮城県南郷高等学校
TEL: 0229-58-1122
FAX: 0229-58-1123

【白銀の世界を満喫！ ～雪山体験学習～ 1/20 (金)】

昨年度に引き続いて20日(金)に鬼首スキー場で雪山体験活動を実施しました。スキー場に初めて来る生徒たちが多いため、事前に活動の希望を確認した上で複数のグループに分け、インストラクターの先生の指導の下でスキー、スノーボードを基礎から学びながら楽しむことができました。活動の後半にはリフトに乗って上方に行き、コースを転ばずに上手く滑ることができるようになった生徒たちが次第に増えてきました。経験のある生徒たちは、最初からリフトを使って様々なコースを颯爽と滑走していました。また、久しぶりにスキーをした先生方が多かったようですが、これまでの経験を生かして巧みにスラロームを描いていました。当日は天気にも恵まれ、風もほぼない好天の下で思い切り体を動かすことができました。昼食は、温かいカレーライスを食べそうにほおぼっていました。限られた時間ではありましたが、学校では体験できない有意義な時間となり、雪山を満喫した一日となりました。



【農業クラブ総会・学習発表会 1/19 (木)】

午後から農業クラブ総会を体育館で実施しました。今年度の事業報告や会計報告を行い、次年度の事業計画を確認しました。その後、総会に引き続き、学習発表会を実施しました。産業技術科の草花部門・作物部門・野菜部門で展開している課題研究、総合的な探究の時間や世界農業遺産支援プロジェクトのこれまでの取組や成果など、これまでの本校での活動を通して、達成したことや学んだことを発表しました。学校評議員の佐々木 寿 様や大崎市世界農業遺産推進課の佐藤敬美課長からの講評では、それぞれの活動を高く評価していただき、大きな励みになりました。来年度の活動を今以上に発展させ、南郷高校を盛り上げていく活動を推進していきます。



【家庭科 家庭でできるマッサージ講座 1/26 (木)】

26日(木)に2年生を対象とした家庭科講座の講師として大崎市のあすなろ鍼灸院の院長 平野 篤 氏と鍼灸サロンこころね 院長 平野 洋子 氏をお迎えし、家庭でできるマッサージ講座を開催しました。生徒たちは先生の説明を聞きながら施術の様子を見せていただき、その後、二人組でマッサージを行いました。自分では見つけにくいマッサージを行うための体の場所を先生方に丁寧に教えていただきました。コツをつかむと「なんか気持ちいいね。」というつぶやきや表情から効果を感じることができました。後半は、オイルを使ったマッサージを体験するなど、体にとってためになる知識や技術を知ることができた貴重な時間になりました。



【除雪支援活動 1/6 (金)】

冬季休業中の6日(金)、世界農業遺産支援プロジェクトの一環として、鳴子の介護施設「ふかふかはうす」での除雪支援活動に有志の生徒11名が参加しました。豪雪地帯だけあって、施設の周囲にある1m余りの雪をスコップで取り除く作業を行いました。この活動を通して、雪国で生活する厳しさを感じるとともに、除雪作業を行った大量の雪が、春に雪解け水となり、大崎耕土を潤す貴重な水資源であることも学ぶことができました。



《2月の行事予定》

- 1日(水)～6日(月) 第4期考査(3年)
特編3h(1・2年)
金融教育講話(2年)
 - 7日(火) 特編3h ワックス掛け
答案返却(3年)
 - 8日(水) 第2回PTA役員会
 - 9日(木) 農クFFJ検定審査会
 - 10日(金) SSW
 - 11日(土) 建国記念日
 - 15日(水) マナーアップ運動 卒業認定会議
 - 16日(木) 3年登校日(成績発表 LHR 2h)
職員会議
 - 20日(月)～24日(金)
第4期考査(1・2年)
 - 23日(木) 天皇誕生日
 - 27日(月) 服装頭髪検査 式場準備
答案返却特編(1・2年)
 - 28日(火) 3年登校日賞状授与 予饗式
卒業式予行 同窓会入会式
- ※現時点での予定です。コロナウイルス感染症の拡大等により変更になる場合があります。

【今月の礼譲和協】



暦の上では、まもなく立春を迎えますが、春とは名ばかりの厳しい寒さが続くようです。12月下旬から感染者が急増した第八波は減少傾向になりましたが、インフルエンザの同時流行を含んで医療がひっ迫しているという報道を耳にします。

新年が明けて、新型コロナウイルス感染症を意識した生活は4年目に入りました。3年生は入学時からコロナ禍の高校生活でした。いったいいつになったら今までの普通の社会生活が戻ってくるのかと思わずにはいられません。

学校としては、感染リスクの高い行動を控えるとともに、場に応じたマスク着用、手指衛生等の感染防止についての対策はこれまでどおり行っていきます。

冬休みが終わるとあっという間に卒業や進級に向けて時間が流れていくのが高校です。将来を見据えた準備のために有意義な時間となるよう期待しています。